

宇都宮大学第3回東日本大震災ボランティア

宇都宮大学、災害ボランティアの第3弾は仮設住宅でのコミュニケーションサポーターを派遣



▲コミュニティーサロン運営についての説明を聞く学生達

宇都宮大学では、災害ボランティア第3弾として8月24日(水)から30日(火)の1週間の間、岩手県内の釜石市、大船渡市他の仮設住宅においてコミュニティーサロンを開き、仮設住宅に住む人たち同士の交流をサポートするボランティアを行いました。

参加した学生達自身も、住民の方や子ども達と心の交流を行い、怪我やトラブルもなく無事に大学に帰ってきました。